

# ——いまなぜ「子ども夢・アート・アカデミー」か

いま日本藝術院・文化リーティスト90人を組織し、財団が材料費持込みで足りなくなったアート・アカデミーが注目の補完に著名なアーティストの派遣事業を始めたのです。依頼を受け私も平成23年度は、北海道・東北から九州各地の小・中・高等学校35校を時間の許す限り訪問し、実技披露を交え自らの体験を語っての交流活動を行いました。

その授業での生徒たちの絵を私の個展会期中に展示し、残り2週間の展覧会を終了しました。政治的・外的要因のためアート&ミュージックの授業が削減されるや、すぐさま別の方法で抜けた授業の穴埋めをするという米国の人々の着想に心から感動した体験をしました。帰国後、そうした経緯を河合雄雄・長官(当時)にお話したところ、いつしか話が文化庁の上層に伝わり今般の日本藝術院の授業に繋がったという経緯があります。

今年度、私には75校からご要請が来たのですが、大阪藝大の仕事、さすがに大変重要なので、私の場合、純粹無垢な子どもたちから学ぶこともある。授業しながらも、その初心というか、老化とは逆の若い可能性に満ちたエネルギーを常に知らされました。

科学や数学の授業もさながらに大変重要なので、それが文化庁、日本藝術院の取り組みとも合致したのだと思います。

これからの日本の再興、復活を託すためには、将来を担う子供達への健全な精神の発達を促すこと、つまり想像力の育成、イメージの展開・描く喜実するのです。

産業界、会社でもセンズがずれたり柔軟な考えが出なければモノは売れない状況に陥ります。デザインも心の持ち方も美しくなければ滅びていく運命にあります。美がいかんにか大事かということ子どもたちこそしっかりと教えなければいけない、そういう思いです。(洋画家・日本藝術院委員)

## 芸術美術の種を植え込むことが日本のリスクマネジメントになる

絹谷幸二

話は2001年に遡りますが、私はニューヨーク高島屋(当時)で個展を開いていました。時のレーガン大統領はソ連との熾烈な軍拡競争のために美術と音楽の授業時間を削り、数学・科学に多くの時間を振り向けました。そうした中、MOMA(ニューヨーク近代美術館)は、当地在住のアーティスト

その授業での生徒たちの絵を私の個展会期中に展示し、残り2週間の展覧会を終了しました。政治的・外的要因のためアート&ミュージックの授業が削減されるや、すぐさま別の方法で抜けた授業の穴埋めをするという米国の人々の着想に心から感動した体験をしました。帰国後、そうした経緯

るいはスケジュール調整の難しさのため全部を回るのは不可能なので35校とさせて頂きました。東日本大震災でのボランティアでの活動もあるけれども私にはこの役割の方が適役かとも考えます。被災地の学校にはまず何か日程を合わせ、訪問してみましたが各地で歓迎していただき嬉しい限り

が、今わが国で小中の高の常勤の美術分野の教員の年間採用数はわずか40名前後。ということは他の科目の先生方が兼任で美術の授業を行っている、これではいけない。ですから自分も「授業」に賛同し参加させて頂きたいと申し出ました。



宮城県石巻市、市立山下中学にての授業 = 9月15日



東京都目黒区、区立鷹番小学校にて = 6月18日